



## 「経営革新計画」～多くの企業が取り組んでいます～

経営革新計画は、新たな事業活動に取り組む中小企業を支援するためのもので、本県の産業の活性化に大きな役割を果たしています。本県の経営革新計画は、毎年全国トップレベルの承認件数を誇っております。

「静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、今後とも、中小企業・小規模企業が直面する、経営の改革、技術開発、販路開拓、人材確保などの課題の解決に向けた施策の充実に努め、中小企業・小規模企業のチャレンジを支援してまいります。

この事例集では、県から経営革新計画の承認を受けた事業者の中から、計画期間終了時において付加価値額年率3%増加等の経営指標の目標を達成した経営革新優秀賞の表彰企業5社をはじめ、全15社をご紹介します。

### 11月14日、令和5年度「静岡県経営革新優秀賞」の表彰式を県庁で開催しました



令和5年度 経営革新優秀賞表彰式

### 「経営革新優秀賞受賞企業の事例紹介」

1	<b>最優秀賞</b>	ファシル株式会社	(静岡市駿河区)
2	<b>優秀賞</b>	株式会社プロダックス	(袋井市)
3	<b>優秀賞</b>	明産株式会社	(富士市)
4	<b>優秀賞</b>	Spiral (福澤郁子)	(浜松市天竜区)
5	<b>優秀賞</b>	株式会社サインクリエイト	(浜松市中央区)

### 「経営革新計画承認企業の事例紹介」

1	<b>製造業</b>	株式会社エムアイファクトリー	(三島市)
2	<b>製造業</b>	UPPERZ (須田安里)	(駿東郡清水町)
3	<b>製造業</b>	株式会社石舟庵	(伊東市)
4	<b>製造業</b>	有限会社ファイブエスファーム	(静岡市清水区)
5	<b>製造業</b>	有限会社藤原木工	(静岡市駿河区)
6	<b>情報通信業</b>	株式会社キャッツアイビー	(浜松市中央区)
7	<b>小売業</b>	ほてい園茶舗 (久保勇介)	(榛原郡川根本町)
8	<b>飲食業</b>	ごはん屋さくら (伊藤忠雅)	(静岡市清水区)
9	<b>サービス業</b>	天城ホースビレッジ (鈴木拓郎)	(賀茂郡河津町)
10	<b>その他</b>	株式会社じゅんちゃんファーム	(浜松市中央区)



# 最優秀賞

ファシル株式会社

[支援窓口(推薦者) 静岡商工会議所]

1

所在地 〒421-0113 静岡市駿河区下川原6-26-22

代表者 八木 法明

設立年月 昭和50年11月

資本金 10,000千円 従業員数 22人

事業内容 防災関連用品企画販売

TEL (054) 258-0214

FAX (054) 258-9381

ホームページ <https://facil.jp/>

最優秀賞

## 経営革新計画概要

### オリジナル防災用品を加えた車載用防災セットの企画開発

計画承認日 平成29年10月18日 計画期間:平成29年7月~令和4年6月(5年計画)

当社は、各種防災関連用品の企画販売を手掛けています。本経営革新計画では、災害や事故等による乗車中のもしもの事態に備え、12点の防災用品がセットになった「車載用防災セット」を企画しました。保温や防水に優れ、静かな場所でも音がしづらい仕様のポンチョ、グリップ力とフィット感を重視し、掌部分は人工皮革、手の甲の部分には反射板を取り付けたグローブなど4点は、当社が企画した防災用品です。車中の紫外線や湿気による劣化に備え、梱包材も工夫しています。常に車内に携帯し、震災時の車中泊や災害時の道路の封鎖、渋滞や通行止めなどに備えることができます。



ボウサイブロック



防災安心セット水・食料7年



代表取締役 八木 法明

## 受賞者からのコメント

当社は災害発生の都度、被災地の状況を調査研究し、実情を踏まえた防災用品を企画しています。本経営革新計画の「車載用防災セット」は、平成28年4月に発生した熊本地震の際、「余震が続いている間は屋内が怖い」「小さな子どもやペットが居るため周囲に迷惑がかかる」といった理由から多数の避難者が車中泊を余議なくされた現地の状況がきっかけとなりました。

経営革新期間中は、経営革新補助金を活用しながらの大規模展示会への出展により、複数の大手自動車メーカーの純正アクセサリとして採用されました。展示会で得た意見を基に、実用性とインテリア性を両立させたスタイリッシュで上質なデザインに向けた改良を重ね、GOOD DESIGN AWARD 2018年(公益財団法人日本デザイン振興会運営)にてグッドデザイン賞も受賞しました。

当社はこれまで本計画を含む6計画について、経営革新の承認を得て、商品開発や販路拡大を進めてきました。当初は大規模展示会への出展はハードルが高いものと感じていましたが、経営革新という制度に背中を押してもらいました。

自然災害が多発する昨今、防災用品は非日常のものではなく、身近に置いて日常生活の一部に溶け込む存在であってほしいと考えています。今後も世の中の役に立つ商品づくりという原点を忘れず、取り組みを続けていきたいと思えます。

## ■支援機関からのコメント

経営革新計画策定に向けた事業のブラッシュアップや経営革新補助金の申請など、承認後のフォローアップを行ってきました。防災関連の大規模展示会への出展においては、新規顧客開拓や商品改良に繋がられたとのお声をいただいています。当社は「もしも」の時、必ず役に立つ防災用品を意識し、近年ではSDGsの視点を取り入れるなど、被災地の実情やニーズの変化に合わせて防災用品を進化させています。今後も当社の商品づくりへの思いに寄り添い、支援をしていきたいと思えます。

経営革新計画の策定は、自社のビジョンやそれに向けたステップが明確化できるだけでなく、補助金や制度融資など計画達成に向けた各種施策が用意されています。皆様のチャレンジを支援します。



# 優秀賞

株式会社プロダックス  
[支援窓口(推薦者) 静岡県産業振興財団]

2

優秀賞

所在地 〒437-0051 袋井市深見129-1

代表者 水野 博康

設立年月 平成26年11月

資本金 5,000千円 従業員数 29人

事業内容 製材業、木製品製造業

T E L (0538) 67-8888

F A X (0538) 67-8889

ホームページ <https://j-produx.com/>

## 経営革新計画概要

### 車種・型番毎に製作するトラックやバン内装の多品種展開と生産体制の構築

計画承認日 平成30年3月5日 計画期間：平成29年4月～令和4年3月（5年計画）

当社はオーダーメイド家具・什器の製造で培った技術を活用し、自動車内で過ごす時間が長い大型トラックやバン、ライトバンといった商用車を中心としたドライバー向けに利便性、快適性を提供する自社オリジナル商品の開発に取り組みました。車種や型番、グレードによって異なる様々な仕様、サイズ等に合わせて各種内装品を設計開発することで細かなニーズに応え、デザイン性、機能性に優れた商品として各ECサイトで販売を行っています。

## 受賞者からのコメント

平成26年の創業時は小さなオフィスを借りてお客様のニーズを洗い出し、必要とされる商品の企画・開発・デザイン・設計をるところからスタートいたしました。本計画には創業3年目というタイミングで支援機関の作成支援を受けながら取り組みました。事業計画を作成することで具体的に取り組むステップや目標を認識でき、現在地を確認しながら事業化を進めることができたと思います。

事業化に当たっては、試作品から商品製造まで一貫して行うための工場を新たに設け、製造体制の整備にはものづくり補助金を活用いたしました。経営革新計画促進事業費補助金を利用してホームページの改修などを行い、インターネットを活用した周知、販路拡大にも取り組んでおります。

当社ではモノづくりに対して「現状に満足せず、常にその先に行く」という姿勢を大事にしております。現代の日本には便利なものがたくさんありますが時代の流れも非常に早く、日々そのニーズは変化し続けています。今後もお客様のニーズに寄り添い、より良い商品づくりに邁進していきたいと考えています。



会社外観



代表取締役 水野 博康

## ■支援機関からのコメント

当財団では経営革新計画の承認に向けて計画内容のブラッシュアップを行いました。同計画を作成するのは初めてと伺った為、まずは計画の目的や支援策についてお話をさせていただくことから始めました。実際に計画の承認後は支援策の1つである経営革新補助金を活用いただくなど、事業化に向けた支援を行いました。

モノで溢れる時代の中で、細分化するお客様のニーズに応える商品が求められていると感じます。当財団では、新しいアイデアを積極的に形にする企業様を応援していきます。



# 優秀賞

**明産株式会社**

[支援窓口(推薦者) 静岡県産業振興財団]

**3**

所在地 〒416-0946 富士市五貫島966-2

代表者 田原 義博

設立年月 昭和42年3月

資本金 24,000千円 従業員数 42人

事業内容 計測器・測定器・分析器・試験機製造業

TEL (0545) 63-9510

FAX (0545) 61-8979

ホームページ <http://www.maysun-eng.co.jp/>

優秀賞

## 経営革新計画概要

### 3台のセンサーヘッドシステムを持つ、非接触式ウェブ厚さ測定システムの開発

計画承認日 平成29年12月21日 計画期間:平成29年4月~令和4年3月(5年計画)

製紙業界で培った技術を活用し、光学フィルム、フレキシブル基板、電池極材など非磁性体ウェブ(フィルムや箔などの薄いシート状のもの)の厚さを計測するシステムを開発しました。非接触式ウェブ厚さ計測システムは平成元年の開発以降年々改良を加えており、本計画では厚さ計に用いる当社独自のセンサーヘッドシステムを1台から3台に増やすことでウェブの厚さを高速かつ正確に測ることを可能としました。リチウムイオン電池の製造工程等、高精度な測定ニーズに応える商品で、時代の先端を行く素材メーカー各社からも極めて高い評価を頂いております。



会社外観



3ヘッド厚み計測機



代表取締役 田原 義博

## 受賞者からのコメント

当社は製紙業界に関わる企業として設立し、NCスリッター(自動幅替)装置を他社に先駆けて導入するなど技術開発を進めてきました。製紙業界が成熟した市場となる中、当社がこれまで扱ってこなかったフィルム、偏光板、フレキシブル基板といった紙以外の素材加工にスリッターやより高度な厚み測定機のニーズがあることがわかり、新たな市場を開拓すべく3ヘッド厚さ計の開発を進めました。開発段階では精密な厚さ管理を行う為に、搭載したそれぞれのセンサーから取得したデータの処理・調整に苦しりましたが、その甲斐もありEV向けのリチウムイオン電池生産が進んだ際には当社の厚み計が利用され、その後海外への輸出にも繋がりました。

本商品は当社の2本柱のうちの1本にまで成長しましたが、新たな技術の開発から実際に売れるまでには10年近くの期間がかかります。その為、次に来る新たな素材の情報収集と予測が欠かせません。今後も当社の製品・技術が産業の発展に寄与できるのかを考え、革新的チャレンジと創意工夫を重ねた独自製品を提供し続けていきます。

## ■支援機関からのコメント

新たな厚さ測定システムを開発する為の資金調達を行いたいとご相談いただき、計画の作成支援を行いました。非常に専門的な製品で、理解するのは容易ではありませんでしたが、計画が無事完成し承認となり、その後当初の目的であった制度融資をご利用いただきました。今では本計画で開発された商品が事業の柱に成長していることをとても嬉しく思っております。

また新しい商品を開発した際には是非お声がけください。計画作成支援だけでなく計画実現に向けた支援策活用についてもお手伝いできればと考えております。



# 優秀賞

**Spiral (福澤郁子)**

[支援窓口(推薦者) 天竜商工会]

4

優秀賞

所在地 〒431-3314 浜松市天竜区二俣町二俣1385

代表者 福澤 郁子

設立年月 平成20年6月

従業員数 1人

事業内容 衣類小売

TEL (053) 925-6001

FAX (053) 925-6001

ホームページ <https://www.spiraljeans.jp/>

## 経営革新計画概要

### 食肉解体施設で廃棄される獣皮を使った革製品の開発と販売

計画承認日 平成30年9月19日 計画期間:平成30年1月~令和4年12月(5年計画)

食肉解体施設で廃棄される獣皮を使った革製品の開発と販売に取り組みました。浜松市天竜区で害獣として駆除された鹿、イノシシ等の野生動物の肉は流通経路が確立されつつありますが、皮は廃棄されています。当店ではカジュアル衣料で培ったデザイン力を駆使して、皮製品を開発・製作し、主に店頭で販売しました。剥いだ皮はすぐに冷凍し、そのままの形状で専門業者に特殊な「なめし加工」を依頼、可能な限り大きな面積の革として有効活用しました。当店でデザインする製品はバッグ類を中心としますが、端切れも無駄にしないように様々な小物を製作しました。



銃痕を残し製作した鹿革バッグ



鞣しが完了した鹿や猪の革



代表 福澤 郁子

## 受賞者からのコメント

ジビエブームが始まった頃、肉は食べているが、皮はどうしているのだろうか?という疑問を持ち調べたところ、ほぼ全て廃棄されていることを知りました。衣料品小売業を営む当店では長年皮革製品も取り扱っており、これまでの経験と知識を生かして廃棄されている皮を革にし、製品にすることができるのではないか、現事業においても良い学びとなり、更に知識を深め、そして何よりもいただいた命を最大限に生かすことができるのではという思いが、この事業に取り組みきっかけとなりました。その後、縁あって鹿の皮を手にし、自身で鞣すという作業に挑戦してみたものの、失敗。皮を生かすということの難しさを実感しました。ここから本格的に事業として確立させる為、原皮の確保、皮を革にする鞣し業者を選定、革を製品にする方法を模索、販路を開拓と、これまでの事業に加えて膨大な時間、費用、長期戦に耐えうるモチベーションが必要となりました。この長期戦において、事業開始時における費用を補完する各種補助金はもちろん、経営革新事業として報告義務があることは、具体的な数字を出して立ち止まり、俯瞰して事業を見直すという良い機会となり、この事業の成長と継続の一助となったと思います。

## ■支援機関からのコメント

当初、天竜地域で食用や害獣駆除で排出される鹿や猪などの生皮を鞣した革など、地域の素材を生かした特色あるオリジナル商品を企画するにあたり、皮の取扱いを猟師やビジエ料理店がどのようにしているか相談があり野生獣皮の提供先を紹介し、また経営革新計画の事業内容に沿った補助金申請を提案し販路開拓にて効果を上げることができました。

今後は野生動物を処理する際の廃棄獣の残肉の問題についても解決し有効活用することを検討していますので新たな商品開発について支援していきたいと思っております。



# 優秀賞

## 株式会社サインクリエイト

[支援窓口(推薦者) 浜松商工会議所]

5

優秀賞

所在地 〒430-0846 浜松市中央区白羽町2495-3

代表者 伊藤 千明

設立年月 昭和61年 7月

資本金 1,000千円 従業員数 1人

事業内容 看板制作設置、防犯防災灯販売、EV車(超小型電気自動車)販売

TEL (053) 442-6011

FAX (053) 442-5740

ホームページ <http://www.sign-create.jp/>

### 経営革新計画概要

## 10年間メンテナンスフリーの避難誘導灯の事業化

計画承認日 平成30年1月25日 計画期間:平成29年7月~令和4年6月(5年計画)

導入費、維持費共に大幅に削減した太陽光発電の避難誘導灯の開発、販売を展開しました。現状、太陽光発電による独立電源の防犯灯は蓄電池やLED照明等の維持費の負担が重く、予算が取れずに稼動していないものが大半であり、災害時には真っ暗となっています。激甚災害が頻発する中、緊急時の避難誘導を確実に行うため、導入費も維持費も軽微な「コンパクトで特許技術による10年間メンテナンスフリーの避難誘導灯」を普及させることにより、地域の安心安全に貢献します。

### 受賞者からのコメント

今、現在も全国の避難所である公立の小・中学校や公民館、そして避難経路には災害による夜の停電に対応できる独立電源の灯りがほとんど整備されておらず充分でないのが現状です。

太陽光発電による独立電源の灯りは、電気の引き込みが困難な山間地にも常夜灯として設置ができ、災害による夜の停電時には一刻を争う状況下で避難誘導灯として人命を守る重要な役割を果たします。従来の製品は、消耗品である専用の電池や照明の交換に伴う維持費の負担が重く、維持費の予算を取って設置しても管理部署で維持費の予算が取れない為、設置後数年が経過すると機能を失った状態で放置されている場合が非常に多く、普及出来ておりません。

そこで、弊社の製品は防犯灯としての明るさの基準を確保しつつ、耐久性、機能性に優れ、価格・設置費・維持費の全てを最小限に抑えた設計になっています。災害で停電になっても灯りがある安心・安全な社会環境を何としても構築したい!日本中の防犯灯の30%を太陽光発電にしたい!そんな強い想いで開発しました。

本事業の取組みにより、多くの会社様と商談ができるようになり、既存の看板制作設置部門の売上も大きく上昇し、直近決算では、売上も確保でき大きく事業拡大ができました。



独自の避難誘導灯 1



独自の避難誘導灯 2



代表取締役 伊藤 千明

### ■支援機関からのコメント

浜松商工会議所では、経営革新計画の策定に向けブラッシュアップを実施しました。主な支援内容としては計画策定に伴う実現可能性と新規性に関して評価・検討を行いました。また、経営革新補助金の活用における補助事業計画策定についてブラッシュアップを行い、同計画における事業化に向けての加速化を図りました。

当社は防災防犯等やEV車販売も手掛けており、当社の強みを活かして、地域に貢献できるよう、当社の事業拡大もできるような多面的に支援を続けていきたいと考えています。

## 株式会社エムアイファクトリー

## 1 高濃度酸素水製造ラインの構築と製造販売

計画承認日及び計画期間▶承認日令和4年3月25日 令和3年10月～令和7年9月（4年計画）

▶所在地 〒411-0803 三島市大場449 2階 ▶代表者 安孫子 伸一 ▶設立 令和2年10月

▶資本金 7,500千円 ▶従業員数 26人 ▶主要製品 PETボトル入り天然ミネラルウォーター

▶TEL (0120) 296 - 106 ▶ホームページ <https://www.mi-factory.com/>

## 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

当社は、静岡県伊豆の国市にミネラルウォーターの充填工場を保有し、ふるさと納税返礼品や地元観光施設への部屋置き用飲料水、企業向けOEMの製造を中心に活動しております。

今回、付加価値が高く競争力のある商品の開発を目指して酸素バブルのサイズ調整技術を確認し、酸素UFB(ウルトラファインバブル)のみを含有させた高濃度酸素水をボトリングできる装置を業界で初めて開発しました。この酸素UFB入りの高濃度酸素水を使ってスポーツ業界やフィットネス業界などの新たなチャネル獲得を目指します。



高濃度酸素水製造装置

## 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

装置の導入にあたっては、ものづくり補助金を活用しました。現在、すでに大口のOEM契約を締結し、月平均およそ300万円の売上高増加を実現しています。今回開発した高濃度酸素水は、酸素が抜けにくく長距離の輸送が可能のため、海外向けの商品もまもなく完成予定です。今後、当初から予定していたスポーツチームやフィットネスジム等への営業活動を積極的に行い、更なる売上および利益の拡大を図りたいと考えています。



自社製ミネラルウォーター

## UPPERZ（須田安里）

## 2 行燈の骨組み改良によるデザインパネルの開発・製造及び取替サービスの提供

計画承認日及び計画期間▶承認日令和5年10月13日 令和5年1月～令和7年12月（3年計画）

▶所在地 〒411-0901 駿東郡清水町新宿18-1 ▶代表者 須田 安里 ▶設立 平成30年9月

▶従業員数 1人 ▶主要製品 キーホルダー、コースター、フォトフレーム等

▶TEL (055) 928-7147 ▶FAX (055) 928-7148 ▶ホームページ <https://upperz.jp/>

## 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

レーザー加工技術を活かしてキーホルダーやフォトフレーム、店舗用立て看板など要望に応じたオリジナルグッズの制作を得意とし、その経験ノウハウからパネルの「着せ替え」ができる行燈を製品化しました。一般的な行燈の構造は、和紙を周りに貼った木枠の内側に梁があり照明機器を取り付けるようになっていますが、パネルを和紙に替えてCNFを素材とした堅い厚紙（ICBボード）を用いてオリジナルデザイン仕様とし、木枠から鉄枠に改良を加えたことでパネルの取外しや装着を容易にしました。



着せ替えできる行燈

## 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

行燈パネルを年4回、要望に合ったオリジナルデザインに交換可能とし、月額制サブスクリプションサービスの提供も開始しました。ホテル、旅館や飲食店向けに四季折々の季節感、ロケーションにあったデザインを提案し施設空間の演出や店内の雰囲気づくりに関する要望に応えることができました。計画承認後の成果は沼津市内のホテルで採用決定、また国内大手広告代理店と販売代理契約の締結により販路拡大が期待できます。



## 株式会社石舟庵

### 3 伝統的な発酵技術を応用した新技術と製菓技術の融合による 新商品開発及び新市場への参入

計画承認日及び計画期間 ▶ 承認日令和2年12月24日 令和2年7月～令和7年6月（5年計画）

▶ 所在地 〒414-0053 伊東市荻549-6 ▶ 代表者 高木 康行 ▶ 設立 昭和61年4月

▶ 資本金 10,000千円 ▶ 従業員数 84人 ▶ 主要製品 和菓子製造

▶ TEL (0557) 38-3500 ▶ FAX (0557) 38-3501 ▶ ホームページ <https://www.sekishuan.co.jp/>

#### 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

当社は静岡県東部を中心に菓子の製造及び販売を行っています。

コロナ禍により観光業が大きな打撃を受けたことで観光市場に依存するだけではいけないと考え、新たな市場を模索しておりました。そこで注目したのは健康市場であり、「飲む点滴」と言われるほど栄養価の高い米糍甘酒を製菓用に自社開発し、腸内環境の改善に効果のあるフラクオリゴ糖と共に「あんこ」の製造に使用することで、白砂糖を全く使わずに味覚と栄養価に優れた和菓子とすることに成功しました。



あしたの大福

#### 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

経営革新計画承認後、自社開発の米糍甘酒とフラクオリゴ糖を使用した「あしたの大福」をネット及び物産展で販売しました。白砂糖を使わず腸内細菌の改善効果がうたえる当商品は健康意識の高いお客様にご好評いただきました。

令和5年度より「経営革新補助金」を活用し白砂糖を使わないあんこをよりアピールした「ANKO DOLCE（仮）」を開発中です。健康面にも配慮した当社の商品を皆様に味わっていただけるよう精進してまいります。



自社開発の米糍甘酒

## 有限会社ファイブエスファーム

### 4 吸音性能を実現！いつでもどこでも間仕切り可能な 「ファブリックアコーディオンドア」の開発と販路開拓

計画承認日及び計画期間 ▶ 承認日令和5年3月23日 令和4年10月～令和9年9月（5年計画）

▶ 所在地 〒424-0036 静岡市清水区横砂西町1-7 ▶ 代表者 掛井 琢也 ▶ 設立 平成4年2月

▶ 資本金 3,000千円 ▶ 従業員数 3人 ▶ 主要製品 オーダーカーテン、ブラインド等縫製加工、取付

▶ TEL (054) 365-6088 ▶ FAX (050) 3488-6749

#### 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

当社はオーダーカーテンの縫製加工を主に手掛けてきました。しかし、令和4年9月の台風15号で工場が損壊。既存事業が復旧困難となり、新規事業へ取組みました。今回、吸音するアコーディオン間仕切り「音なし〜い君®」を開発しました。この製品は生地の中に特許取得済み吸音フェルトが入っており、周囲に聞かれたくない打合せ等に効果を発揮します。反射音を抑えて雑音を吸収するため、小声でも聞き取りやすくなります。カーテンの様に畳めて場所も取らず、吊るすだけで使える優れたものです。

#### 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

承認後、県トライアル発注推進事業に選定いただきました。また、経営革新補助金を活用し、県工業技術研究所での吸音試験により正確なデータを確認した他、モニターを依頼し顧客の生の声を取り入れた試作改良を繰り返しています。（令和6年1月時点）製品完成後は、既存取引先に加え要望の多い介護業界や守秘義務を取り扱う士業に営業する他、様々な音と室温の悩みに応えるリフォームにも対応していきたいと考えています。



特別養護老人ホームでの施工例



コンパクトに  
たためます

## 有限会社藤原木工

5

### 湾曲させたアクリル板と和の模様を融着させたパーソナル壇の開発と販売

計画承認日及び計画期間 ▶ 承認日令和5年4月27日 令和4年9月~令和9年8月 (5年計画)

▶ 所在地 〒422-8064 静岡市駿河区新川2-9-18 ▶ 代表者 藤原 茂 ▶ 設立 昭和39年4月

▶ 資本金 9,000千円 ▶ 従業員数 6人 ▶ 主要製品 仏壇、家具

▶ TEL (054) 285-1904 ▶ FAX (054) 284-7057 ▶ ホームページ <https://www.f-fujiwara.co.jp/>

#### 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

当社は昭和22年に創業、家具及び家具調仏壇の製造・販売を行っています。自社工場での製造のため、小ロットやフルラインナップ生産が可能であり、自社ショールームを併設しています。

近年、遺骨の一部などを身近な場所に置く手元供養の習慣が広まりつつあることを受け、モダンデザインにおけるパーソナル供養の新しいカタチを提案しました。人が合掌する姿をイメージした湾曲のデザインは、木材のフレームにアクリルを挟み、内部が可視化され、従来の仏壇のイメージを払拭するものとなっています。



商品写真

#### 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

経営革新計画承認後、早速ご注文をいただきました。自社併設ショールームでは「経営革新計画承認書」を掲示し、ご来場いただいたお客様にご案内しております。また、新聞等のメディアなどに取り上げられ、問い合わせも寄せられるなど評判も上々です。

今後、各地で開催される展示会に出展し「経営革新補助金」を活用して、新商品改良や販路開拓を行っていく予定です。



自社併設ショールーム

## 株式会社キャッツアイビー

6

### 浜松産天竜ひのき材を活用したカプセルトイ商品の開発、販売

計画承認日及び計画期間 ▶ 承認日令和4年10月27日 令和4年1月~令和8年12月 (5年計画)

▶ 所在地 〒433-8117 浜松市中央区高丘東5-12-1 ▶ 代表者 金子 勝彦 ▶ 設立 平成25年1月

▶ 資本金 1,000千円 ▶ 従業員数 1人 ▶ 主要製品 広告デザイン、印刷全般、販促品、木工雑貨、記念品、地域PRグッズ

▶ TEL (053) 522-7989 ▶ FAX (053) 543-4028 ▶ ホームページ <https://www.catsivy.com>

#### 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

当社は従来、企業に対して広告のデザイン・印刷関連の事業を行ってきました。近年は地域PR品の企画、製作、販売事業にも注力しています。今回、地元浜松産天竜ひのき材を活用し、木に触れて楽しめるカプセルトイ商品を新たに開発、販売しました。カプセルトイマシンを天竜ひのき材で装飾加工し、当地域に関するものを商品テーマにしています。子どもから大人まで木材に親しんで地域の文化への理解を深めてもらい、木育（もくいく）の普及と天竜材を始めとした地域資源のPRに貢献していきます。



#### 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

カプセルトイマシンを市内の文化、観光施設などに計10台設置し、令和5年1月から販売開始しました。量産化や幅広いデザインへの対応力強化のため、ものづくり補助金を活用してレーザー加工機を導入し、1年間で13,000玉を超えるカプセルトイを販売することができました。今後も観光客はもちろんのこと、地元の子どもやその親世代にも、この遠州地域の素晴らしい地域資源を実感してもらえよう、取り組んでいきます。

## ほてい園茶舗（久保勇介）

## 7 蓋付きティーバッグの開発と販路開拓

計画承認日及び計画期間▶承認日令和3年11月15日 令和3年1月～令和7年12月（5年計画）

▶所在地 〒428-0311 榛原郡川根本町元藤川377 ▶代表者 久保 勇介 ▶設立 昭和30年1月

▶従業員数 1人 ▶主要製品 茶（リーフ）

▶TEL (0547) 57-2253 ▶FAX (0547) 57-2176 ▶ホームページ <https://hoteien.jp/>

## 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

川根茶販売で事業を営んでいます。リーフ茶の需要が低下する中で、新しい試みとして蓋付きティーバッグ「茶っぼ」を開発しました。

これまでのティーバッグでは抽出の際に茶葉の旨みを上手に抽出できず、「もったいないな」と感じていました。そこで、急須がなくても湯呑やカップにティーバッグ付の蓋をしてお茶を抽出、抽出後蓋を返せばティーバッグ置きに、蓋で茶葉を絞れば旨みを抽出できるのではないかと思ひ新商品開発に取り組み、これまでありそうでなかった商品「茶っぼ」を開発しました。



煎茶っぼ



和紅茶っぼ

## 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

「茶っぼ」の蓋に川根本町のPRを印刷して川根本町様においてノベルティとして活用していただいております。

静岡県小規模企業経営力向上事業費補助金を2度活用し、令和3年度は商品開発と販路開拓の実施、令和5年度は新たに紅茶の「茶っぼ」を販売することができました。今後はお客さまのご要望を取り入れB to C販売強化に努めると同時に、蓋を企業PRに活用できる利点をPRしB to Bへと販路開拓していきます。

## ごはん屋さくら（伊藤忠雅）

## 8 とろみ感のある桜えびのクリームコロッケの製造販売による販路開拓

計画承認日及び計画期間▶承認日令和5年3月15日 令和4年1月～令和7年12月（4年計画）

▶所在地 〒421-3111 静岡市清水区由比今宿1027-8 ▶代表者 伊藤 忠雅

▶設立 平成19年9月 ▶従業員数 5人 ▶主要製品 定食・丼物 そば・うどん 桜えびかき揚げ・黒はんぺんフライ

▶TEL (054) 376-0101 ▶FAX (054) 376-0023 ▶ホームページ <http://www13.plala.or.jp/sakuraya110/>

## 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

当店は清水区由比地区にて、桜えび料理を中心とした定食料理を提供している飲食店です。桜えびの新たな食べ方を消費者に提供したいと考え、「桜えびクリームコロッケ」を開発しました。市販で販売されているような桜えびの風味がするクリームコロッケではなく、桜えびの身が詰まったクリームコロッケであり、とろみ感との両立を図った商品です。原材料の配分調整と製造工程に工夫を施し完成した商品は、当店の新たな看板メニューとして期待しています。



桜えびクリームコロッケ



桜えびクリームコロッケこっぺ

## 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

来店したお客様が、定食・丼物等の注文の際に追加の一品でご利用頂き客単価の引き上げに、又、お持ち帰り用の注文も多く売上増加に大きく貢献しています。他店舗からの問合せもあり、卸売販売にも繋がっています。さらに、専門家の意見を参考に姉妹店の「hobo こっぺ」で桜えびクリームコロッケこっぺの商品開発に至り、現在好評販売中となっています。クリームコロッケの中身のパテを使用した新商品開発にも取り組んでいます。

## 天城ホースビレッジ（鈴木拓郎）

### 9 総天然オーガニック馬糞堆肥「バラ専用堆肥」と「畑用堆肥」の開発及び販売

計画承認日及び計画期間 ▶ 承認日令和5年6月29日 令和5年1月～令和7年12月（3年計画）

▶ 所在地 〒413-0508 賀茂郡河津町小鍋40-1 ▶ 代表者 鈴木 拓郎 ▶ 設立 昭和63年10月

▶ 従業員数 2人 ▶ 主要製品 乗馬クラブ

▶ TEL (090) 6082-8159 ▶ ホームページ <https://www.uma-boro.com/>

#### 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

「日本一敷居の低い乗馬クラブ」を目指し経営していましたが、コロナ禍の新事業として「乗馬クラブが本気で製造する馬糞堆肥」に取り組みました。

一般的に流通している動物性堆肥は、病気を防ぐために抗生物質等が含まれた餌を食べた糞を使用していますが、当施設では馬に与える餌や混ぜるおがくずに100%天然素材を使用。また、馬糞がバラや畑の肥料として適していることに着目し、それぞれの特性に合った馬糞・おがくずの配合比を独自開発し、私たちが本気で製造した馬糞堆肥が完成しました。



馬糞が良質な堆肥に生まれ変わります

#### 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

当地域は畑も多く自家菜園等を楽しむ方が多いことから、計画承認後、河津桜観光交流館をはじめ近隣市町の地場産品販売店へアプローチしたところ委託販売での取引に繋がり、徐々にではありますが地域での認知度も向上しております。また、楽天市場への出店や県内版情報番組へのテレビ出演を機に県内外からの顧客獲得にも繋がっております。昨今のSDGsの流れにも乗り、引き続き本事業の発展と販路開拓に努めていきます。



堆肥製造の堆肥舎も完備

## 株式会社じゅんちゃんファーム

### 10 クラシック音楽を聴かせて育てた小松菜及び小松菜粉末の生産・販売

計画承認日及び計画期間 ▶ 承認日令和2年12月24日 令和2年3月～令和6年2月（4年計画）

▶ 所在地 〒431-1112 浜松市中央区大人見町3487-2 ▶ 代表者 宮本 純 ▶ 設立 平成31年3月

▶ 資本金 300千円 ▶ 従業員数 1人 ▶ 主要製品 小松菜・米（コシヒカリ）生産および卸売

▶ TEL (090) 9102-7953 ▶ ホームページ <https://www.junchanfarm.com>

#### 既存の事業内容（計画実施前）及び経営革新計画の概要

当社のクラシック音楽を聴かせて育てた小松菜「コマツーナ」は、モーツァルトを聴かせて育てています。実施背景は、岡山大学教授の研究で「高周波の音波を聴かせると葉の気孔が開き、土から吸い上げる養分が増える」という研究があり、農作物でも応用できると考えたためです。

研究機関で「コマツーナ」を調査した結果、聴かせた方が聴かせていない方と比べて鉄分、ビタミンCが多く含まれているという結果が出ました。また、生育のスピードに関しても聴かせた方が良いという結果となりました。



#### 承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

ものづくり補助金の活用により、粉碎機を導入したことで、「コマツーナ」の粉末パウダーの開発・販売を行いました。これにより、食材ロスの削減を図ることができました。

また、HPやレシピ動画の制作により、ブランド力を高めるなど浜松市内における認知度は向上しています。今後、栽培面積を増やしていくことで、さらに取引先拡大を図ることで売上アップにつなげていきたいです。



# 新商品・サービスで経営革新にチャレンジ!

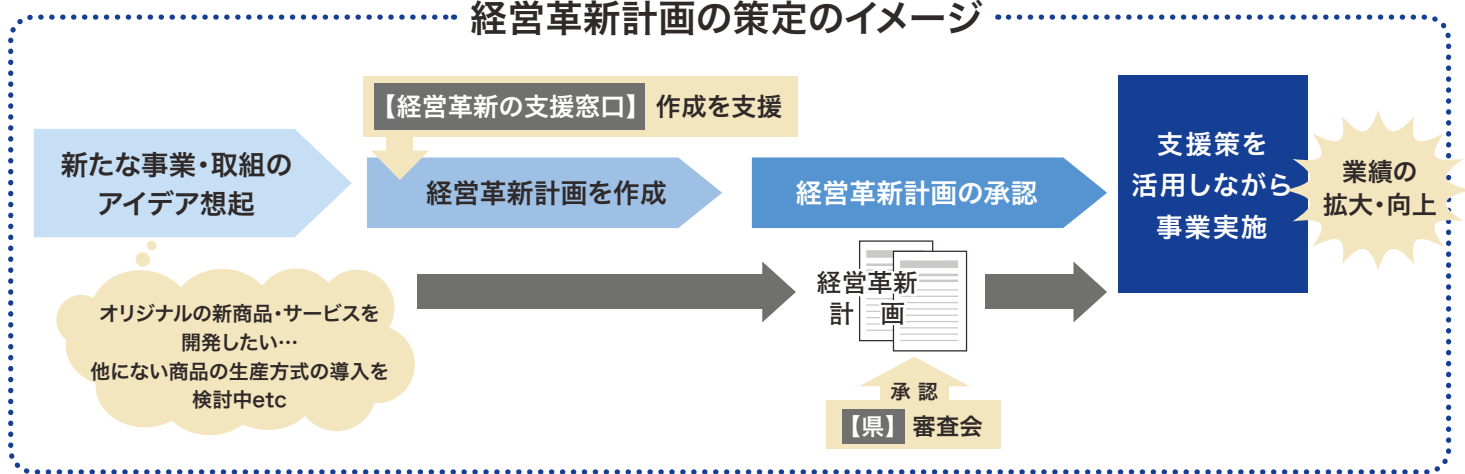
「自社の課題や方向性を明確にしたい!」

「社員と経営目標を共有して仕事へのモチベーションを向上させたい!」

「これまで培った独自の技術やノウハウで新しい分野に挑戦したい!」

経営革新計画の策定は、これから新事業を立ち上げようとする事業者の情熱や思いを具現化する有用な取組です。中小企業等経営強化法に基づき、経営革新計画を作成することで、社内における経営目標や課題の共有・明確化を図ることができます。また、計画の承認を受けることで、県制度融資や補助金など、利活用できる公的支援策の幅がさらに広がります。

## 経営革新計画の策定のイメージ



## 1. 経営革新計画の概要

### 1 新規事業の内容

以下のいずれかの新たな事業活動を行うことによって、経営の相当程度の向上を図るもの。(ただし、個々の中小企業者にとって「新たな事業活動」であっても、その内容が既に他社において相当程度普及している製品・サービス・技術・方式等の生産や導入となる場合には、承認の対象となりません)

- ①新商品の開発または生産
- ②新役務の開発または提供
- ③商品の新たな生産または販売の方式の導入
- ④役務の新たな提供の方式の導入
- ⑤技術に関する研究開発およびその成果の利用
- ⑥その他の新たな事業活動

上記①～⑥の海外展開に係る事業(海外子会社等と連携した新たな事業活動)も対象となっています。

### 2 計画期間

3～5年間の事業計画であること。ただし、新事業の内容⑤の場合のみ3年以内の研究開発期間を加え、最長で8年間の計画とすることができる。

### 3 経営の向上の内容(目標とする経営指標)

- ①付加価値額(企業全体または一人当たり)が年率3%以上向上すること  
付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費
- ②給与支給総額が年率1.5%以上向上すること  
給与支給総額 = 役員報酬 + 給与 + 賃金 + 賞与 + 各種手当

## 2.主な支援策(令和5年度)

令和6年度は支援策自体が変更されている場合がありますのでご注意ください。

### 県制度融資

県と金融機関・信用保証協会が協力し、経営革新事業資金に関し、金融機関を通じて融資を行います。

支援機関：静岡県経済産業部商工金融課  
電話 054-221-2513

### 信用保証の別枠

経営革新事業資金に関し、保証限度額の別枠が設けられています。

支援機関：静岡県信用保証協会  
電話 054-252-2121

### 公庫の低利融資

日本政策金融公庫(中小企業事業・国民生活事業)にて経営革新事業資金について特別利率で融資を受けられます。

支援機関：日本政策金融公庫 中小企業事業(※1)  
国民生活事業(※2)

### 公庫による債務保証

中小企業者の外国関係法人等が、現地(海外)の金融機関から長期資金を借入する際に、日本政策金融公庫が信用状を発行し、債務保証します。

支援機関：日本政策金融公庫 中小企業事業(※1)

### 経営革新補助金

経営革新計画による①新商品・新技術・新役務開発、②販路開拓または③生産性向上に関する経費の一部を県が助成します。

支援機関：静岡県経済産業部経営支援課  
電話 054-221-3164

### トライアル発注

経営革新計画により新たに開発した商品について、県が試験的に購入し、また、使用後は当該商品の有用性を評価します。

支援機関：静岡県経済産業部商工振興課  
電話 054-221-2512

### 販路開拓コーディネート

中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネーターより、新商品等の具体的な販路開拓支援を受けられます。

支援機関：中小企業基盤整備機構 中部本部 企業支援課  
電話 052-220-0516

### 新価値創造展

中小企業基盤整備機構が開催する中小企業総合展に出展し、経営革新計画による商品等を紹介できます。

支援機関：中小企業基盤整備機構 販路開拓支援課  
電話 03-5470-1525

\*計画の承認は支援策を保証するものではありません。計画の承認後、利用を希望する支援策の申請先である支援機関の審査が別途必要になります。

\*支援策については、支援機関ごとに運用が異なるため、内容や条件など変更となっている場合があります。詳細については、事前に支援機関にご確認ください。

<日本政策金融公庫の連絡先>

(※1) 中小企業事業 静岡支店 電話 054-254-3631  
浜松支店 電話 053-453-1611

(※2) 国民生活事業 静岡支店 電話 054-254-4411  
浜松支店 電話 053-454-2341  
沼津支店 電話 055-931-5281

## 参考資料 静岡県の経営革新計画の承認状況

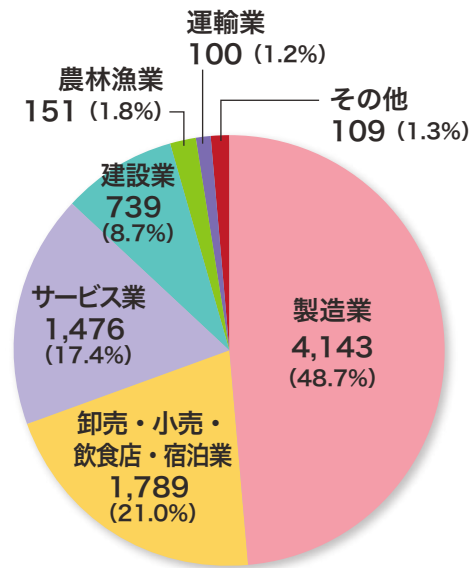
### ◆地域別承認件数

(令和6年1月末日現在)

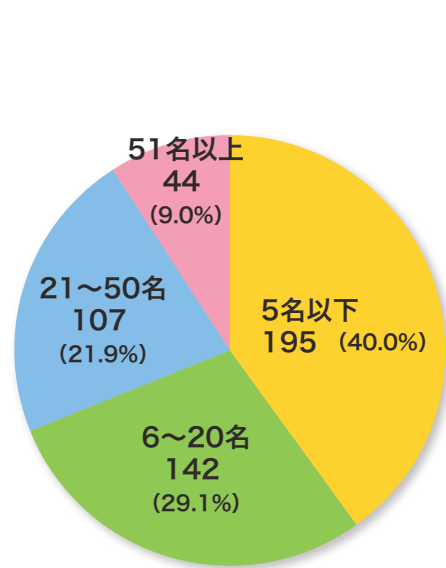
	H11～H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
東 部	2,071	203	204	178	152	81	2,889
中 部	1,940	174	231	184	163	77	2,769
西 部	2,196	159	267	212	173	90	3,097
合 計	6,207	536	702	574	488	248	8,755

### ◆業種別等の承認件数

申請者業種別 (平成11年度～令和4年度)



従業員数別 (令和4年度)



### 経営革新計画のメリットは？

#### ■ 資金調達

内 容	割 合
1 金融機関への信用力が向上した	48.2%
2 民間金融機関から融資が受けやすくなった	17.4%
3 政府系金融機関から融資が受けやすくなった	5.2%
4 政府系金融機関による低利・長期融資	10.8%
5 借入枠や保証枠が広がった	4.3%
6 その他	14.1%

#### ■ 知名度・信用度・顧客満足度の向上

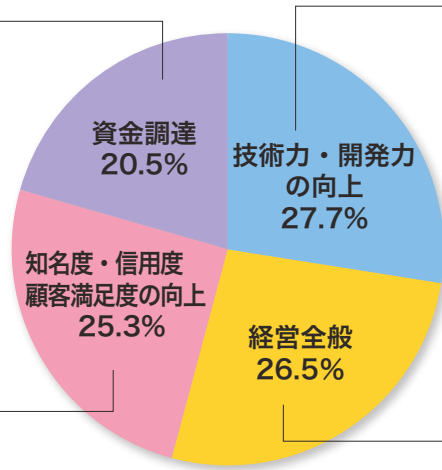
内 容	割 合
1 宣伝・営業が行いやすくなった	31.3%
2 知名度・信用度が向上	36.1%
3 新規取引先が増えた	12.2%
4 問い合わせが多くなった	10.9%
5 大手企業との取引が可能となった	2.4%
6 その他	7.2%

#### ■ 技術力・開発力の向上

内 容	割 合
1 自社の新製品を開発することができた	40.0%
2 計画を立てる方法がわかった	26.2%
3 客観的評価が可能になった	21.1%
4 対外的信用が増し、新たな取引先が確保できた	10.2%
5 その他	2.4%

#### ■ 経営全般

内 容	割 合
1 中長期計画の立案が可能となった	22.3%
2 社内の意識が向上した	33.0%
3 計画の実効性が増した	26.4%
4 役割分担や責任等が明確になった	15.0%
5 その他	3.3%



※承認企業 339 社による複数回答 (R4 実施フォローアップ調査より)

※端数調整の関係で合計が100%となっていない場合があります。

# ～まずはお近くの窓口にご相談ください～

お問い合わせ先一覧(経営革新支援窓口)

■ 静岡県産業振興財団 経営革新支援チーム TEL.054-273-4432

## ■ 商工会議所

下田商工会議所 TEL.0558-22-1181	富士宮商工会議所 TEL.0544-26-3101	島田商工会議所 TEL.0547-37-7155
伊東商工会議所 TEL.0557-37-2500	富士商工会議所 TEL.0545-52-0995	掛川商工会議所 TEL.0537-22-5151
熱海商工会議所 TEL.0557-81-9251	静岡商工会議所 TEL.054-253-5113	袋井商工会議所 TEL.0538-42-6151
三島商工会議所 TEL.055-975-4441	焼津商工会議所 TEL.054-628-6251	磐田商工会議所 TEL.0538-32-2261
沼津商工会議所 TEL.055-921-1000	藤枝商工会議所 TEL.054-641-2000	浜松商工会議所 TEL.053-452-1115

## ■ 商工会

静岡県商工会連合会 TEL.054-255-9811 (お近くの各商工会でご相談ください。)			
河津町 TEL.0558-34-0821	御殿場市 TEL.0550-83-8822	大井川 TEL.054-622-0393	浅羽町 TEL.0538-23-2440
東伊豆町 TEL.0557-95-2167	裾野市 TEL.055-992-0057	吉田町 TEL.0548-32-3366	磐田市 TEL.0538-36-9600
南伊豆町 TEL.0558-62-0675	長泉町 TEL.055-986-0685	牧之原市 TEL.0548-52-0640	天竜 TEL.053-925-5151
松崎町 TEL.0558-42-0470	清水町 TEL.055-975-6987	島田市 TEL.0547-45-4611	浜北 TEL.053-586-2171
西伊豆町 TEL.0558-52-0270	沼津市 TEL.055-966-1331	川根本町 TEL.0547-56-0231	奥浜名湖 TEL.053-527-2600
伊豆市 TEL.0558-72-8511	芝川 TEL.0544-65-0273	菊川市 TEL.0537-36-2241	浜名 TEL.053-592-3111
伊豆の国市 TEL.055-949-3090	富士市 TEL.0545-71-2358	御前崎市 TEL.0537-86-2146	新居町 TEL.053-594-0634
函南町 TEL.055-978-3995	静岡市清水 TEL.054-369-0431	掛川みなみ TEL.0537-72-2701	湖西市 TEL.053-576-0637
小山町 TEL.0550-76-1100	岡部町 TEL.054-667-0244	森町 TEL.0538-85-3126	

## ■ 静岡県中小企業団体中央会

静岡事務所 TEL.054-254-1511	東部事務所 TEL.055-926-8220	西部事務所 TEL.053-453-2195
------------------------	------------------------	------------------------

## ● 静岡県経営革新ホームページ

経営革新の詳しい内容を掲載しています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kigyoshien/keieikakushin/1028472.html>

静岡県 経営革新

検索

編集：(公財) 静岡県産業振興財団

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館4F

TEL.054-273-4432 FAX.054-273-4480

URL <http://www.ric-shizuoka.or.jp>